

1 市財政情報発信キャラクター「いばら騎士」と 令和2年度決算の概要を見よう 問財政課 ☎ 620・1612

一般・特別会計の決算状況

一般会計・特別会計ともに黒字となりました(表1参照)。令和2年度は、国からの交付金や財政調整基金等を活用し、「きめ細やかな日常生活支援」や「コロナに強い社会環境の整備」等を最優先に新型コロナウイルス感染症対策に取り組むとともに、「財政の健全性」を確保し、「安全・安心」の対策と「豊かさ・幸せ」が実感できる“次なる茨木”の実現に向けた取組みを推進しました。

主に税金を使って福祉・教育等の市民サービスを行うのが「一般会計」、保険料等の特定の収入で特定の事業を行うのが「特別会計」です。



表1 一般・特別会計別決算(億円)

会計	一般会計	特別会計			
		財産区	国民健康保険事業	後期高齢者医療事業	介護保険事業
歳入	1,269.7	51.7	271.8	44.7	198.1
歳出	1,251.3	1.0	261.3	43.1	193.2
繰越	7.3				
差引	11.1	50.7	10.5	1.6	4.9

差引=歳入-歳出-繰越(繰越=翌年度に繰り越す財源)

令和2年度歳出決算額の内訳(市民一人当たり)

歳出決算総額を市の人口で割った金額の内訳

- | | | | |
|-------------|----------|----------|--------------------------|
| ①福祉の充実 | 168,700円 | ⑤借金の返済 | 18,400円 |
| ②教育の推進 | 43,600円 | ⑥消防・救急業務 | 9,400円 |
| ③環境・保健衛生の向上 | 31,600円 | ⑦その他 | ※139,800円 |
| ④道路・公園等の整備 | 21,500円 | | ※特別定額給付金支給事業(284.2億円)を含む |

市債(借金)残高・基金残高の推移

まちの持続的発展のためには「財政の健全性」の確保が重要になるのね。

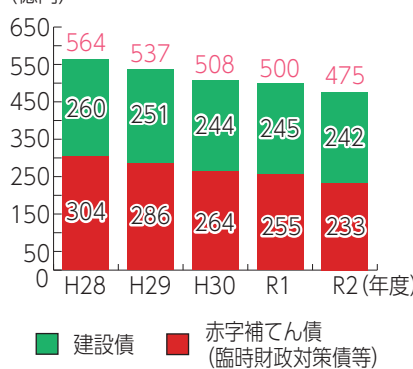


グラフ1の市債(借金)残高は、近年の市債発行抑制等の健全化の取組みによって減少しています。

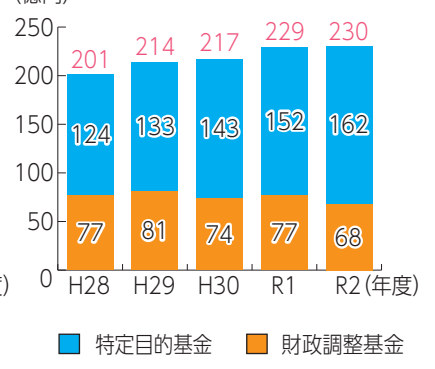
グラフ2中の財政調整基金とは、災害や急激な財源不足等に備え、設置を義務付けられている市の貯金にあたるものです。令和2年度も充実に努める一方で、新型コロナウイルス対策として13億円を取り崩し、適切な活用を図りました。

また、市民会館跡地エリアの整備や駅前再整備の財源となる特定目的基金は、着実に増加しました。

グラフ1 市債(借金)残高



グラフ2 基金残高



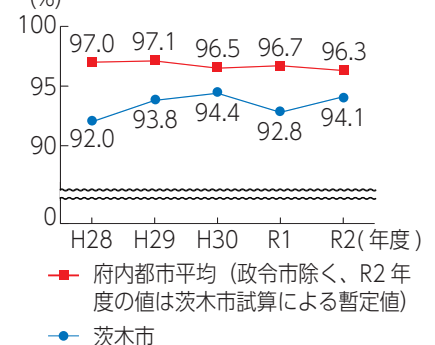
経常収支比率・ビルド&スクラップ

グラフ3は数値が低いほど、財政構造に弾力性(市民ニーズへの対応力)があることを示す「経常収支比率」の推移を示しています。会計年度任用職員制度の開始に伴う人件費の増加等により比率が上昇しましたが、府内平均値よりも低い状態を保っています。ただし、今後も弾力性を維持するために、サービスの充実(ビルド)と既存サービスの見直し(スクラップ)を適切に進めていく必要があります。

これまでのビルド&スクラップ等の継続により、府内平均より低い比率をキープして、市民サービスの充実に取り組んでいるんだね。



グラフ3 経常収支比率の推移



今後も「財政の健全性」の確保のもと、新型コロナウイルス感染症への対応や、「今」と「将来」に対応した市民サービスの充実を図っていきます。

各施設の休館日等は市HP等でご確認ください。

問 問合先、✉ メールアドレス、HP ホームページ、**保** 一時保育あり(原則有料、詳細は事前にお問い合わせを)